

くろかわらばん

平成29年6月発行 第25号



平成29年5月運動会より

*****病院理念*****

私たちは地域の方々に愛され
安心して利用できる病院を目指します

な い よ う

- 2P 「統合失調症の薬物療法」について
- 3P 地域連携室からのお知らせ
- 4P 認知症疾患医療センター通信
- 5P めっせーじ
- 6P 外来診療案内・5月の行事

皆様こんにちは。広報誌くろかわらばんでは今年度の特集として「当院で行っている統合失調症の医療的ケア」について取り上げていきたいと思ひます。

およそ100人に1人が発症する可能性のあるという比較的罹患する確率の高い病気でありながら、詳しいことはわからないという方も多いのではないのでしょうか。

特集の第一弾として「統合失調症の薬物治療」について当院薬剤部の皆川より皆様にお伝えいたします。



黒川病院の薬剤部長の皆川久敏です。今回は統合失調症の薬物治療についてお話をさせていただきます。統合失調症の薬物治療は、1950年代から始まり当初は興奮し暴れる患者をおとなしく抑える薬（鎮静作用）が中心で、その後、精神症状の幻覚・妄想を抑える薬も多く開発され治療に使われるようになりました。



薬剤部長 皆川久敏

それから1990年代後半まで、多剤併用療法という精神薬を何種類も混ぜた多量の粉薬で統合失調症の治療を行ってきました。これは、一つの薬が効かないと他の薬を足して、それでも効かないとまた違う薬を足してと数種類の薬をブレンドして治療をすることです。この治療法では、どの薬が効いているのかよくわからない、副作用がでて、どの薬が原因なのかわからないというようなケースになることが多かったようです。また、副作用止めの薬や、睡眠薬、便秘になりがちなので下剤を追加するなど他の薬も多く追加して飲むことになりました。

そして1990年代後半から開発された抗精神薬により違う治療法が行われるようになりました。それは単剤療法といい、一つの薬で治療をすすめる方法で、この薬が効かないとなると、違う薬に変えてしまつて、前の薬はやめてみましょうということ。飲む薬を少なくすることができて、この新しい精神薬は副作用が少なく鎮静作用もほどほどで、幻覚・妄想にも同じように効き、引きこもりや生活意欲の低下なども防ぐことができます。現在では、この単剤療法が主流になっています。

以前は、多くの量の薬を1日3回 朝、昼、夕食後に分けて飲んでいましたが、最近の薬は1日1回 朝か夕食後、または寝る前などに1回だけ飲むものが増えてきました。それにより飲み忘れや面倒な服薬管理をなくすることができるようになりました。さらにこの新しい精神薬には、持続性の注射剤もあります。これは月に1回、または2週間に1回診察の時に注射をするもので、うまく治療がすすめば、この注射剤だけで飲み薬は要らないというケースになることもあります。

多くの統合失調症の患者さんは抗精神薬を飲むことが面倒な事や、薬を飲むことで「眠い」、「ボーっとする」、「考えられない」、「やる気がでない」等の副作用で、「仕事をしたい」、「社会に復帰したい」というような思いにいたらなかったケースがあったと思ひます。仕事に就いても定期的に病院に通院しなければいけない、休みを取るのに言いづらななど悩みもあると思ひます。今後も、私たち薬剤師は患者さんそれぞれの生活や思いにあった薬物治療を提案しサポートしていければと考えています。薬での病気の治療にお悩み方はお気軽にご相談していただきたいと思ひます。

地域連携室からのお知らせ

今回は退院前訪問指導についてご説明いたします

退院した後、どんな生活になるのか不安だわ…。

?

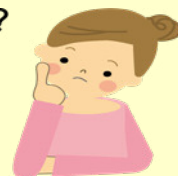


それであれば退院前訪問指導を利用してみてはどうでしょうか？



退院前訪問指導…？
具体的にどんなことをするの？？

?



入院中に病院職員（看護師・作業療法士・精神保健福祉士）と一緒に、生活訓練施設へ見学に行ったり、在宅生活を見据えて、ベッドの高さ・ポータブルトイレの配置などを専門職の観点からお伝えさせてもらったりと様々なご相談をお伺いさせてもらっています。下に実際の感想を載せますね。



退院前訪問指導で通所施設の見学にいきました。実際に見学することができて、退院後の生活がイメージしやすくなったので、とっても助かりました。皆さんも是非、利用してみてくださいね。



料金は入院費に含まれますが、もっと詳しく教えてほしいという方は病院の職員までご相談ください。
(交通費は距離に応じて100円～250円の範囲でかかります)



?





ご存知ですか？

～ 若年性認知症 ～

平成21年の厚生労働省の調査では、全国で約37,800人。新潟県では約700名と推計されています。

若年性認知症って何？？

18歳以上65歳未満で発症する認知症の総称です。

若年性認知症の相談窓口

新潟県内の認知症疾患医療センター9か所に、「若年性認知症支援コーディネーター」が1名配置になっています。

当センターでは、渡邊真美（精神保健福祉士）が若年性認知症支援コーディネーターを担当しています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

若年性認知症を取巻く環境・課題

若年性認知症の方とご家族の不安や心配事は多岐にわたっています。

例えば・・・

- ・医療・・・近くの認知症専門医の情報を知りたい。会社から受診を勧められているけれど…。
- ・就労・・・仕事で失敗することが増えてきた。でも仕事は続けたい。
- ・経済的な援助・・・会社を退職して、収入がなくて不安？医療費助成や障害年金など利用できるサービスは？
- ・福祉サービス・・・どんな福祉サービスがあるの？手続きは？
- ・介護サービス・・・介護の方法がわからない、どうすればいいの？
- ・財産管理・契約等・・・財産管理など、どうすればいいの？

このような心配ごとに対して若年性認知症の方一人ひとりの状態に応じた支援、対応が求められています。

虹色カフェやまぼうし開催！

平成29年3月8日（水）に認知症カフェを開催しました。当日は50名ほどの参加がありました。

皆さん思いおもいのひな人形を折り紙などで作ったり、前回のカフェに引き続き、作業療法士さんのマジックショーがあったりと盛りだくさん。マジックショーでは、グラスに入っていたコーラが急に消えたり、ペットボトルから雪が出てきたりと驚きの連続で、皆さん楽しいひと時を過ごしました。

今年度もカフェを実施する予定です。興味のある方は、是非ご参加ください。



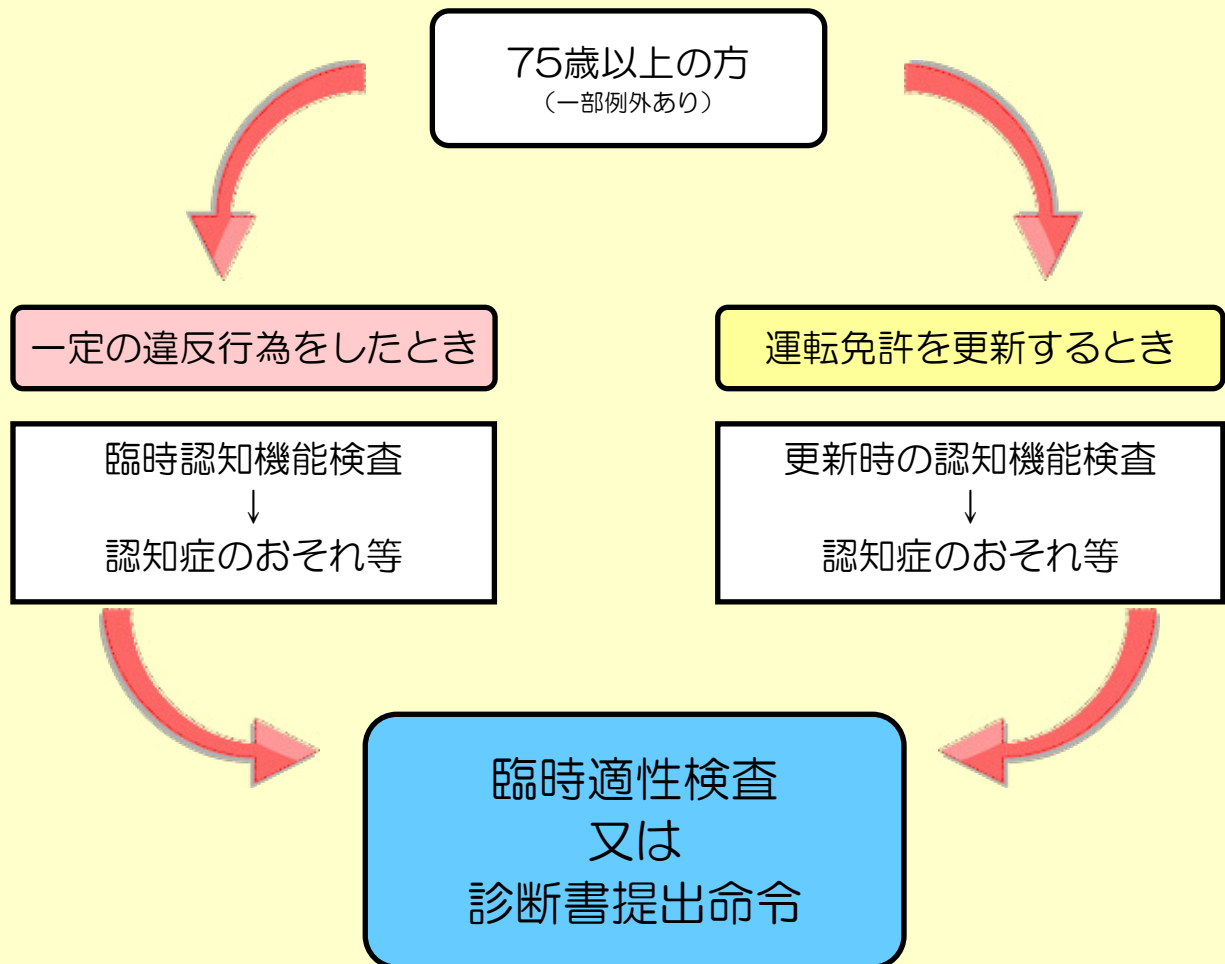
（黒川病院）認知症疾患医療センターでは、もの忘れ外来の受診予約や入院、認知症に関する相談など、担当の相談員がお話を伺います。秘密は厳守されます。まずはお気軽にご相談ください。

お問合せ先：（黒川病院内）認知症疾患医療センター 医療相談員：脇川・渡邊（真）・伊藤
☎0254-47-2640 ※平日午前9時～午後5時まで

めづせーじ



平成29年3月12日改正道路交通法が施行されました。
運転免許証を更新する際や一定の違反行為をした際に今までと手続きの
流れがかわりました。その内容についてお知らせします。



更新時の認知機能検査又は臨時認知機能検査で認知症のおそれがあると判定された方は、臨時適性検査（医師の診断）を受け、又は、命令に従い主治医等の診断書を提出しなければなりません。

※ 医師の診断の結果、認知症と判断された場合は運転免許の取消し等の対象となります。



外来診療案内

精神科担当医

月	火	水	木	金	土
宮本	関野 松井	宮本 小熊	関野 松井	関野 小熊	※ ・関野 ・宮本 ・松井

内科担当医

	吉田				
--	----	--	--	--	--

診療科 : 精神科 内科 歯科
 診察日 : 月～金
 土 (第1・第3)
 ※歯科は木曜休診です
 休診日 : 土・日・祝祭日
 受付時間 : 午前8時30分
 ～ 午前11時まで
 診療時間 : 午前9時から
 (診療は午前のみ)

出張等により変更となる場合がございます。※は第1・第3土曜のみです。

5月の行事



運動会の様子



避難訓練の様子

編集後記

ジメジメした梅雨の時期がやってきました。しかし、5月下旬には真夏日を記録するなど、異常ともいえる気象が続いております。皆様、熱中症など体調の管理には十分お気を付けください。

発行：医療法人白日会 黒川病院
 〒959-2805
 新潟県胎内市下館字大開1522番地
 電話：0254-47-2422
 FAX：0254-47-3181
<http://www.hakujitsukai.com>